

## お使いになるときは

ご使用前に十分に光を当ててください

本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっております。安定してお使いいただくために、本書に従って、光が当たるようにしてお使いください。(充電時間については、「●電源について」参照)

本機は、工場出荷時にパワーセービング状態になっております。お使いになるときは、リュースに差し込まれているスペーサーを取り外し、デジタル部の時刻・カレンダーとアナログ部の時刻を合わせてください。

### ●パワーセービング状態とは

- アナログ部の動きを止めて、電力の消費を減らす状態のことです。
- デジタル部は、充電切れになるまで内部では動き続けています。

### ●パワーセービング状態を解除するには

リュースの間にスペーサーが差し込まれているときはスペーサーを取ります。

#### 1. ① または ② ボタンを押します。

⇒ デジタル部の秒が点滅します。

#### 2. デジタル部の時刻およびカレンダーを確認します。

(「■ デジタル部の合わせ方」参照)

#### 3. アナログ部をセットします。

(「■ アナログ部の合わせ方」参照)

#### 4. リュースを押し込みます。

⇒ 点滅が止まります。

### ●パワーセービング状態にするには

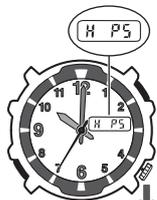
#### 1. リュースを引きます。

⇒ アナログ部が停止し、デジタル部で秒が点滅します。

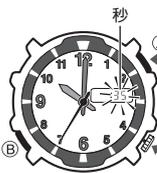
#### 2. そのまま2～3分間放置します。

⇒ デジタル部で「PS」が点滅表示します。

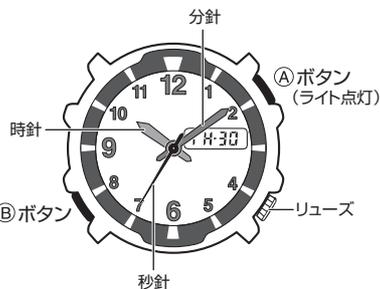
パワーセービング表示



スペーサー



## 各部の名称と見方



**リュース**  
アナログ部を合わせるときやデジタル部のセットのとき、パワーセービングのときに引き出して使用します。

### ① ボタン

押すとライトが点灯します。

※点灯時間は約1.5秒間と約3秒間のいずれかを選ぶことができます。

(「■ デジタル部の合わせ方」参照)

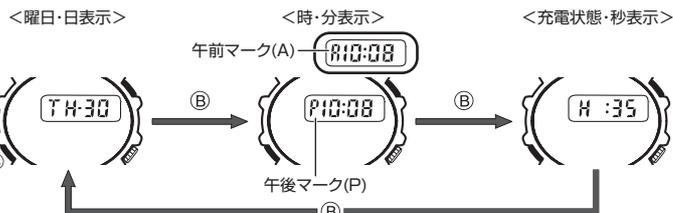
また、暗いときに時計を傾げるだけでライトを点灯させるオートライト機能もあります。

(「● ライト点灯について」参照)

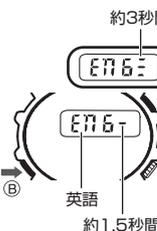
### ② ボタン

押すごとにデジタル表示部が以下の順に切り替わります。

(充電状態については、「電源について」参照)



また、押し続けている間、曜日の言語とライトの点灯時間の設定を表示します。



## ライト点灯について

本機の表示部にはライトがついており、暗いときにライトを点灯させて時刻を見ることができます。また、暗いときに時計を傾げるとライトが自動点灯するフルオートライト機能もあります。

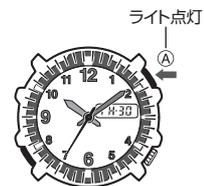
### ■ ボタンを押して点灯させる ～手動点灯～

#### ① ボタンを押します

※点灯時間は約1.5秒間と約3秒間のいずれかを選ぶことができます。(「■ デジタル部の合わせ方」参照)

※オートライトOFFのときも① ボタンを押すと点灯します。

※リュースを引いた状態では、ライトは点灯しません。



### ■ 時計を傾けて点灯させる ～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても暗いときに時計を傾げるだけでライトが約1.5秒間または約3秒間点灯する便利な機能です。

暗い場所で時刻などを見るときに大変便利です。

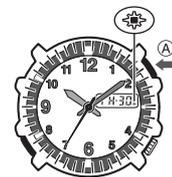
※明るいときは点灯しません。

※リュースを引いた状態では、ライトは点灯しません。

### ●オートライトのセット

#### ① ボタンを約2秒間押し続けます

※オートライトONマーク(☀)が点灯して、オートライトがセットされます。



### ●オートライトの解除

オートライトONマークが点灯しているときに、

#### ① ボタンを約2秒間押し続けます

※オートライトONマークが消灯して、オートライトが解除されます。

本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。

これはオートライト機能のためのスイッチ(金属球)が内部で動くための音で、故障ではありません。

### ●ライトを点灯させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を「手首の外側」にくるようにつけてください。

※文字板の左右(3時-9時方向)の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると点灯しにくくなります。

### ＜オートライトご使用時の注意＞

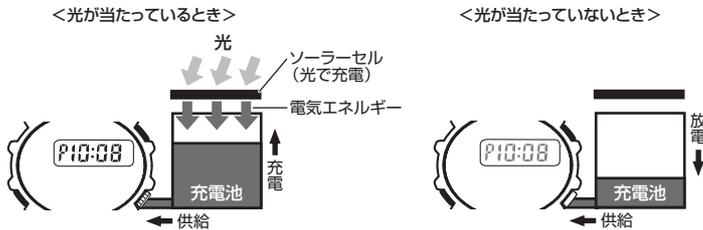
- オートライトを頻繁に使用すると電池の持続時間が短くなりますのでご注意ください。
- 時計が服の袖に隠れるようにつけると、明るいときでもオートライトが点灯することがあります。
- 時計を傾けたとき、ライトの点灯が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- ライト点灯後、時計を傾けたままにしておいても、点灯は約1.5秒間または約3秒間のみとなります。
- 2秒連針(Low)になると、自動的にオートライトOFFになります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上へあげたりしても点灯することがあります。オートライトを使用しないときは必ずOFFにしておいてください。  
※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、点灯しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも点灯しにくいときは、腕を下からふりあげてみると点灯しやすくなります。

## 電源について (充電のしかた)

本機はソーラーセルで発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。光が当たりにくい場所での保管および使用、長袖で本機が隠れたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して充電不足になることがあります。安定してご使用いただくために、なるべく光が当たるようにしてお使いください。

### ■十分に光を当ててご使用ください

#### 1. 光が当たっているときと当たらないとき



時計は光が当たらないときでも常に動いていますので、このままでは充電電池の容量が減って機能が使えなくなります。

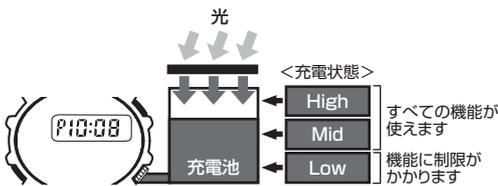
#### 2. ライトをたくさん使うと

- ライトを多用すると充電電池の容量は早く減ります。



#### 3. 時計に光が当たるようにしましょう

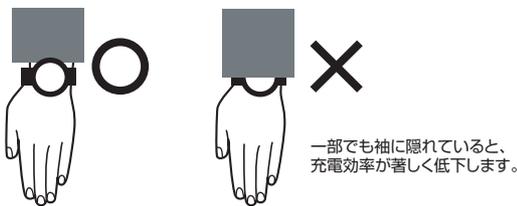
- 電池容量を示す充電状態がLowになると機能に制限がかかりますので、High、Midを保つように光を当ててください。



- 腕から外したときは文字板 (ソーラーセル) を明るい方に向けて置くなどして、充電を心掛けてください。



- 腕に付けているときはなるべく袖が文字板 (ソーラーセル) にかからないように使用してください。



#### ●充電時のご注意

以下のような高温下での充電はお避けください。

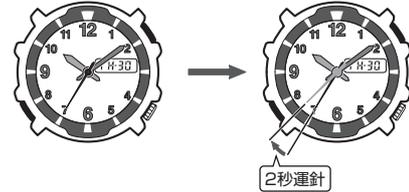
- 炎天下に駐車中の車のダッシュボードの上
- 白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
- 直射日光が長く当たって、高温になる所

⚠ 充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようにご注意ください。

### ■充電について

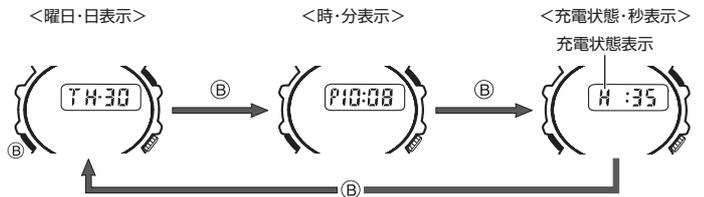
#### ●充電警告機能

秒針が2秒遅針して、充電不足をお知らせします。このときも時計は正常に動いていますが、2秒遅針を始めてから2~3日経過すると、遅針は停止します。このときは、速やかに光を当てて充電し、もとの1秒遅針に戻してください。



#### ●充電状態の確認

二次電池の充電状態を確認するには、〈充電状態・秒表示〉に切り替えます。



High	H :35	すべての機能が使用可能
Mid	M :35	すべての機能が使用可能
Low	L :35	秒針が2秒遅針、ライト点灯不可、Cマーク点滅
液晶表示無し		時計機能停止 (時計発振不可)

※直射日光下などの強い光で充電した場合、充電状態が一時的に実際の電池容量より高いレベルを表示することがあります。レベルは充電後しばらくしてから確認してください。  
 ※Lowのまま2~3日経過すると、アナログ部の遅針を停止します。  
 ※時計機能停止 (表示無し) になっても再度充電を行なうことで使用できます。  
 ※時計機能停止 (表示無し) から充電したときは、Lowになるとチャージマーク (Cマーク) が点滅します。ただし、この状態ではアナログ針の遅針は行ないませんので、Mid以上になるまで十分に光を当ててから、ご使用ください。

#### ●リカバーマークが点灯している場合

ライトを短時間に連続して使用するなど、電池に大きな負担がかかった場合、リカバーマーク (Rマーク) が点灯して、一時的にライトの点灯ができなくなります。この場合は、時間がたてば電池電圧が復帰し、使用できるようになります。



#### ●充電の目安

本機は一度フル充電すると、充電しなくても基本動作に加え、下記の使用例で使用した場合に約6ヶ月動き続けます。

使用例  
 ・ライト：約1.5秒間/日

なお、こまめに充電を行えば、安定してご使用いただけます。  
 ※基本動作とは、時計内部の時刻演算処理のことです。

#### 〈1日動くのに必要な充電時間〉

※左記の条件で使用した場合。

環境 (照度)	充電時間
晴れた日の屋外など (50,000ルクス)	約8分
晴れた日の窓際など (10,000ルクス)	約30分
曇り日の窓際など (5,000ルクス)	約48分
蛍光灯下の室内など (500ルクス)	約8時間

#### ●各レベルに回復するための充電時間

環境 (照度)	表示無し → Low	Mid	High
晴れた日の屋外など (50,000ルクス)	約39時間	約17時間	約16時間
晴れた日の窓際など (10,000ルクス)	約146時間	約64時間	約60時間
曇り日の窓際など (5,000ルクス)	---	約103時間	約96時間

※この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

## 時刻・カレンダーの合わせ方 時刻合わせは、デジタル部の時刻を先に合わせてください。

### ■ デジタル部の合わせ方

#### 1. リューズを引きます。

⇒ デジタル部で秒が点滅表示します。

#### 2. セット箇所を選びます。

⇒ (B) ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が切り替わります。

#### 3. セットします。

⇒ (A) ボタンを押すごとに1つずつ進むか、セット内容が切り替わります。

#### 4. デジタル部のセットが終わったら、リューズを押し込みます。

※ デジタル部の時刻を修正した後は、続けてアナログ部をセットしてください。

表示例：2005年6月30日、午後10時8分35秒12時間制表示、ライト点灯時間約1.5秒、英語曜日表示。

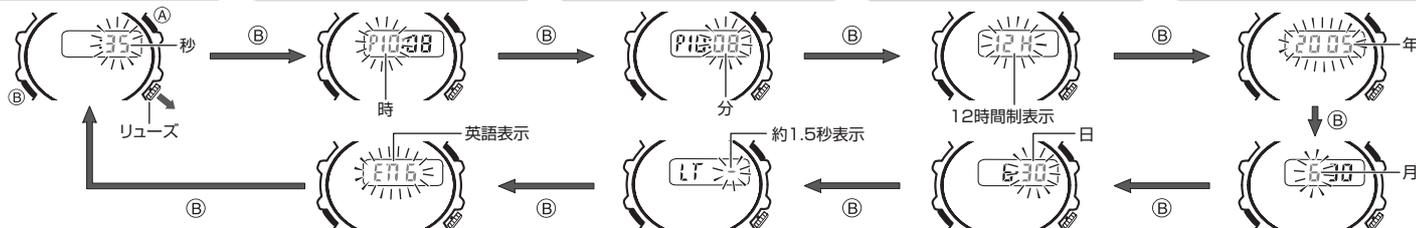
秒が00秒になります。  
(00~29:切り捨て)  
(30~59:1分繰り上がり)

押すごとに1時間ずつ進みます。  
※押し続けると早送り。  
※午前(A)/午後(P)にご注意。

押すごとに1分ずつ進みます。  
※押し続けると早送り。

押すごとに12時間制表示24  
時間制表示が切り替わります。

押すごとに1年ずつ進みます。  
(年:2000~2099年)



※ここではアナログ部を省略して表示します。  
※秒を合わせるときは、時報サービス(電話117番)が便利です。

押すごとに曜日の言語が切り替わります。  
(「● 曜日の見方」参照)

押すごとにライトの点灯時間が切り替わります。  
(- :約1.5秒間 / + :約3秒間)

押すごとに1日ずつ進みます。

押すごとに1か月ずつ進みます。

- 曜日は年・月・日を合わせると、自動的にセットされます。
- カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

### ■ アナログ部の合わせ方

#### 1. 秒針が12時位置にきたらリューズを引きます。

#### 2. リューズを回して時刻を合わせます。

#### 3. 秒針の位置がデジタル部の秒に一致したとき、リューズを押し込みます。

⇒ 秒針が動き出してセット終了です。

※ 時刻を合わせるときは、針を正転方向(進む方向)に回して合わせてゆき、分針を正しい時刻より4~5分進めてから逆に戻して合わせると正確に合わせることができます。



#### ● 曜日の見方

表示	言語	日	月	火	水	木	金	土
ENG	英語	SU	MO	TU	WE	TH	FR	SA
ESP	スペイン語	DO	LU	MA	MI	JU	VI	SA
FRA	フランス語	DI	LU	MA	ME	JE	VE	SA
DEU	ドイツ語	SO	MO	DI	MI	DO	FR	SA
ITA	イタリア語	DO	LU	MA	ME	GI	VE	SA
RUS	ロシア語	BC	AK	BT	CP	CT	AT	CB